

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.16

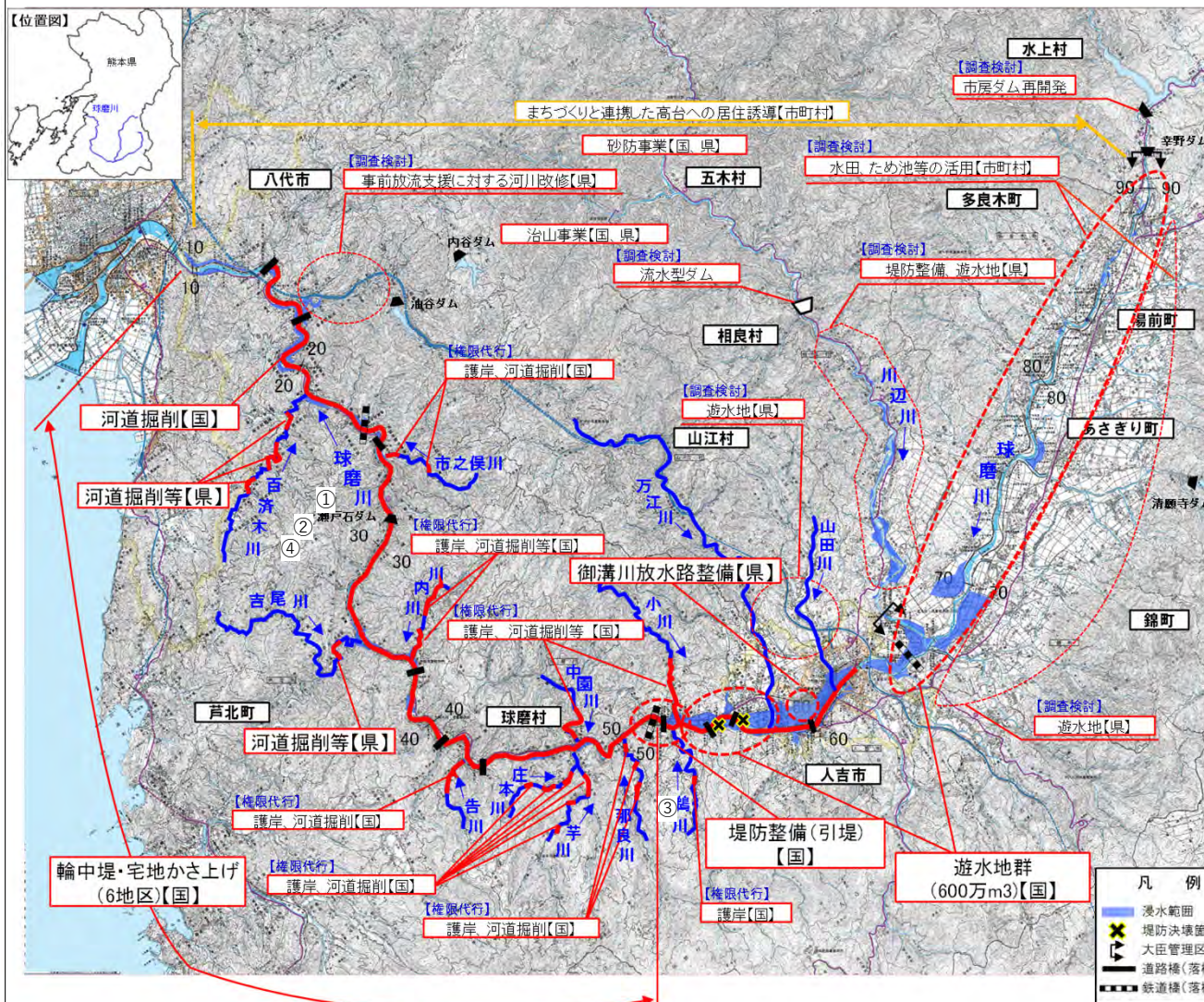


球磨川水系緊急治水対策プロジェクトの進捗状況について

- 令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川においては、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水地等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して、越水による氾濫防止※（人吉市の区間等）、家屋の浸水防止※（中流部）など、流域における浸水被害の軽減を図る。

※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む

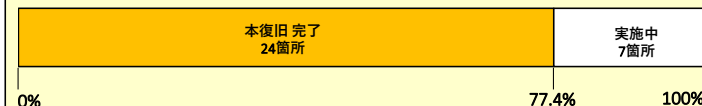
- 令和3年度末までに、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施。



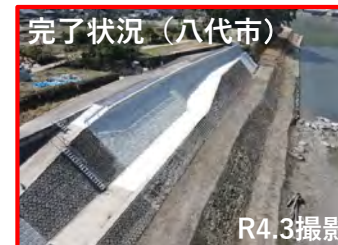
【ハード対策の進捗状況】 令和4年3月末時点

- ①河道掘削
令和3年出水期まで：約70万m3掘削完了
令和3年出水期以降：約85万m3掘削完了、引き続き推進を図る
- ②輪中堤・宅地かさ上げ（6地区）
地元協議中、測量実施中、地質調査実施中、用地調査中
- ③引堤（延長約600m）
地元協議中、用地測量実施中
- ④遊水地（調節容量約600万m3）
地元協議中、用地測量実施中、地質調査実施中

○災害復旧（堤防決壊を含む）



○災害復旧（権限代行）



完了状況（八代市）

R4.3撮影



施工状況（八代市）

R4.3撮影

球磨川水系緊急治水対策プロジェクトについて
八代河川国道事務所HPで進捗状況を公表中▶

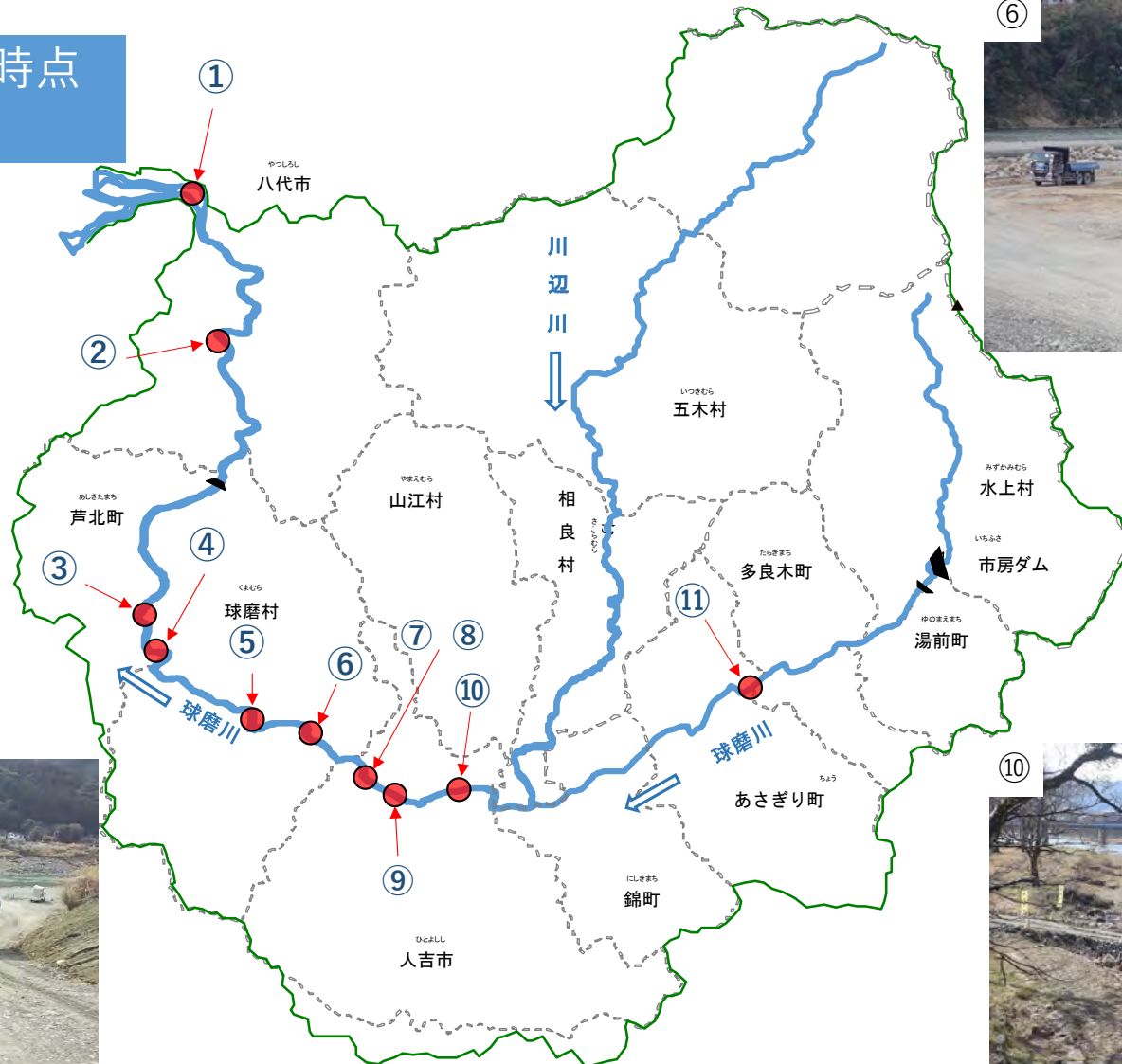


球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.16

河道掘削の進捗状況について

- 出水期前までに予定していた約70万 m^3 の掘削が令和3年5月末までに完了。
- 引き続き、球磨川河道内の掘削を行っており、令和4年3月末現在約85万 m^3 を撤去。

令和4年3月末時点
実施中箇所



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.16

護岸等の災害復旧状況について

- 護岸等の被災箇所のうち、緊急性の高い18箇所の被災箇所については本復旧が概ね完了。
- 残りの箇所（高水敷の被災等）については、令和4年出水期までに完了予定。

【位置図】



【被災状況】

⑥ 球磨川右岸14k600付近
(八代市坂本町生名子)



【復旧状況】



⑦ 球磨川右岸16k400付近
(八代市坂本町坂本)



⑩ 球磨川右岸18k00付近
(八代市坂本町藤本)



③被災状況

球磨川左岸13k000付近
(坂本西部地先)



③復旧完了



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.16

護岸被災等の復旧について（権限代行区間）

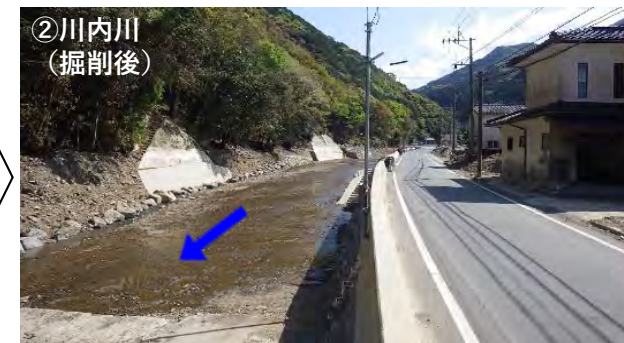
- 権限代行9河川については、令和3年5月末までに約20万 m^3 の土砂掘削を完了。
- 護岸等の被災施設の復旧については、約140箇所の全箇所に着手し、令和4年出水期までに完了を目指す。



【施工前状況】



【施工後状況】



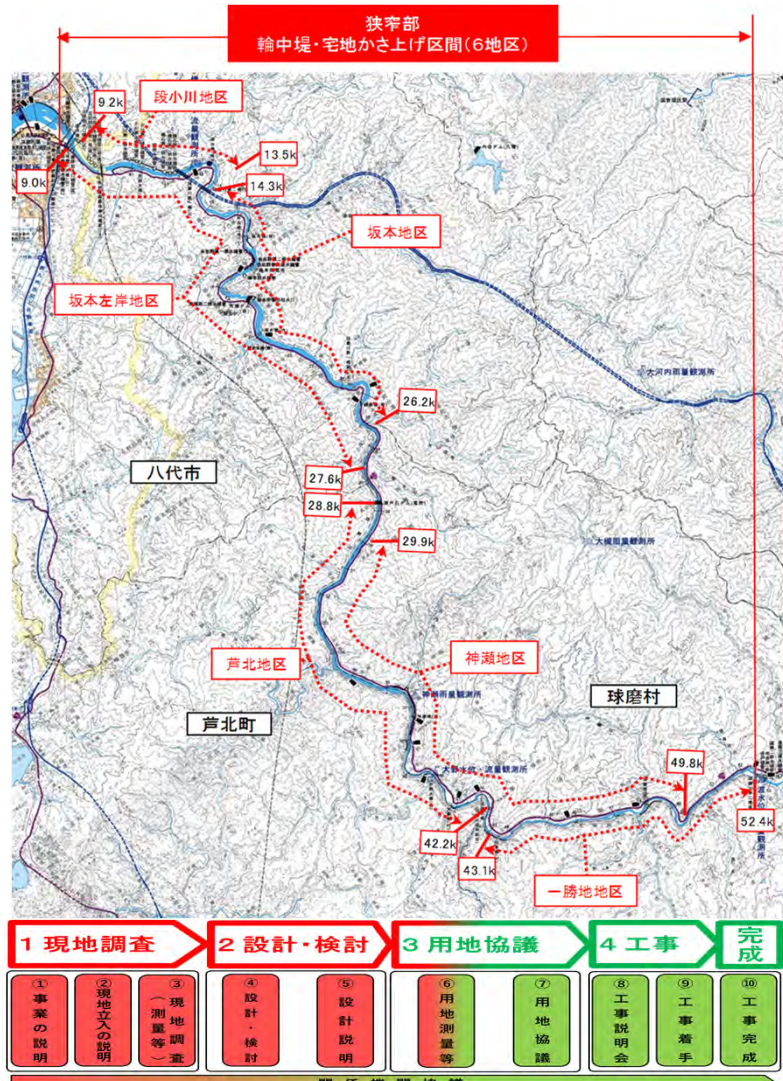
【施工状況】



球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.16

輪中堤・宅地かさ上げの進捗状況について

- 輪中堤・宅地かさ上げについて、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年3月から順次開催（3市町村 計48回開催 ※3月末時点）。
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査（測量等）を行い、現在、測量・地質調査・用地調査等を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



令和4年2月～3月の説明会等実施状況



球磨村神瀬地区宅地かさ上げ高さ確認 (R4.2.5)

地域住民の皆様には宅地かさ上げの高さを具体的にイメージして頂くことを目的とし、神瀬地区中心部において宅地かさ上げ後の高さを示すテープを国、熊本県、球磨村、地域の方と協働で地区の電柱等に設置した。



地区別懇談会(R4.3.21)
【球磨村神瀬地区】

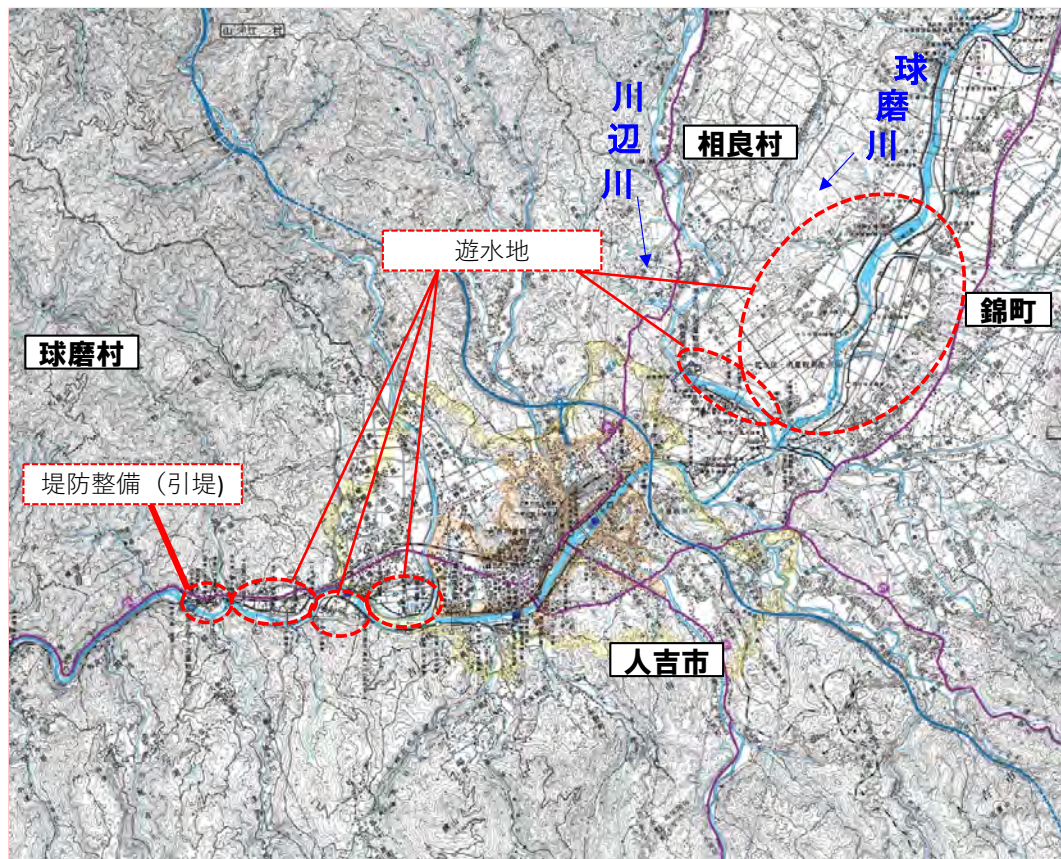


地区別懇談会(R4.3.21)
【八代市今泉地区】

球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.16

引堤・遊水地の進捗状況について

- 引堤・遊水地について、県及び関係市町村と連携を図ったうえで対象となる各地区で事業説明会を令和3年2月から順次開催。
(4市町村 計27回開催 ※3月末時点)
- 事業説明会にて事業説明及び現地立ち入りの説明を行ったうえで、令和3年4月から現地調査(測量等)を行い、現在、用地測量、地質調査を実施中。
- また、復興・再生に向けた各地区のまちづくり懇談会等に参加し、地元との合意形成に努めている。



令和4年2月～3月の説明会等実施状況